



議会だより

# はとやま



No. **139**  
2018.2.1発行

初の議会報告会 町民と交流 .....	2
12月定例会報告	
キッチン整備でマルシェににぎわいを .....	5
私たちは賛成・反対しました .....	6
町政を問う！一般質問に9人が登壇 .....	7
常任委員会レポート .....	12

# 初の議会報告会 町民と交流

## ～議会活性化の取組み～



11月19日(日)町役場305・306会議室にて

鳩山町議会報告会・懇談会が、11月19日に町役場会議室にて開催されました。27年4月に行われた「鳩山町議会議員選挙」において無投票だったことを受け、昨年度より「どうする!?鳩山町議会活性化特別協議会」を立ち上げ、無投票にしないための取組みや協議を重ねてきました。そのような中で、議会に興味を持っていただくために、また町民の皆さまの率直なご意見を聞く機会をとという事で、議員全員で準備を進めて参りました。

初めての試みでしたが、多くの町民の方の参加をいただき、活発な意見交換が行われました。

### ① 9月議会報告 (日坂・大賀議員)

最初に9月議会の報告を行いました。議会で行われている定例会の開催時期や、議会の役割について説明をし、9月議会で審議された議案等についての報告、28年度決算報告は、家計の収入・支出に例えたグラフで、町の決算内容を説明しました。

また、9月議会で議員から提出された議案3件について、内容と審議結果を報告しました。

そのほか、一般質問とは何か、定義を説明して各議員の一般質問の内容等の紹介をしました。

### ② 定数・報酬について (根岸・小川議員)

次に、議員の定数と報酬についての報告を行いました。

現在13人の定数に至るまでの推移を示し、近隣の市町村議会の報酬などを紹介しました。

議員定数の削減が求められる主な理由について、定数削減のメリット・デメリットについての考察を発表しました。

また、議員の役割として、①民意の反映、②行政の監視、③議案の議決責任、④調査・提案などを挙げ、町民の代表としての議員の仕事をお伝えしました。

### ③ 鳩山ニュータウン の再生創造事業 (小峰・石井徹議員)

3番目のテーマは、鳩山ニュータウンで町が取り組んでいる事業について報告をしました。

高齢化の進む鳩山ニュータウンの変遷に触れ、現在進めている再生・創造事業から、地域包括ケアセンター、コミュニティ・マルシェを取り上げました。7月にオープンした、これらの施設の概要を紹介し、鳩山町の少子高齢化対策のハード・ソフト面が出揃ったこと、今後の課題等についての考察を発表しました。



#### ④ 北部地域活性化 事業について (森・中山議員)

町の北部に位置する、泉井地区の活性化事業として、町道第1号線の整備事業と泉井交流・体験エリアの整備などについて事業の概要や、計画期間について報告しました。上熊井地区の活性化事業からは、集落センターの建替え、農産物直売所の新設事業の概要について取り上げました。

(仮称) 鳩山新ごみ焼却施設の予定地を地図で示し、町営路線バス北部線の越生駅までの延伸について説明しました。



定数について考察した小川・根岸議員



議会報告をする大賀・日坂議員



小鷹議長と司会・石井計次議員

#### 質疑応答

議員による報告の後、質疑応答を行いました。議員に立候補した際に懸念したことはどのような事か、という質問に全議員が答えました。本業との両立や、報酬面での不安があつた等の答えが出ていました。また、議員としてもつと真剣に町のために尽力せよという、叱咤激励をいただきました。

#### グループ懇談会

報告会終了後、参加者が5つのグループに分かれて懇談会を行いました。大きなテーマを議員定数と報酬についてとしたうえで、議会や町政に対する自由なご意見を伺いました。各テーブルに2名の議員がつき、進行役と書記を務めました。

#### 定数・報酬についてのご意見

- ・ 定数を減らせば、選挙になると思う。
- ・ 兼業を認めているのだから、報酬は減らしても民意尊重の観点から、定数は減らすべきではない。
- ・ 現状の13名で良いのではないか。議員を減らして与党ばかりでも困る。
- ・ 地元で議員がいてほしいが、現実的には難しい。
- ・ 議員不要論もあるのだから、財政の面からも緊迫感を持って考えるべき。
- ・ 兼業は難しい。家族が反対する。



課題を協議する森・中山議員のグループ



意見を交わす小峰・石井徹議員のグループ



5つのグループに分かれて懇談会

#### 懇談会での その他のご意見

- ・ 議会の魅力を発信すべき。広報・広聴を使ってアピールを。
- ・ 昔は大字から候補者を立てて、地元の意向を通したものが、時代は変わり、若い世代は行政に対して不満がないし、興味もなくなっている。
- ・ 地域で懇談会の開催を。社協のふれあい会食会の参加年齢の拡大を。
- ・ ニュータウン地域の体育祭の振興委員は自治会、新自治会だけではなく、丁目ごとの協力をお願いしたい。
- ・ 北部地域の活性化は、20年後、30年後を見据えて取り組んでほしい。
- ・ 農地(耕作放棄地)を負の遺産にせず、利活用できないか。
- ・ 議員が自分で町の課題を探す努力を。
- ・ 以前、議会だよりの町民アンケートで、知人が写真付きで掲載されていて、議会を身近に感じた。

**当日のアンケートから (抜粋)**

〈年代〉

40代・・・11人  
50代・・・3人  
60代・・・13人  
70代・・・8人  
80代・・・2人

〈お住まいの地域〉

ニユータウン・・・5人  
今宿地区・・・17人  
亀井地区・・・11人

〈興味深かったテーマ〉

9月議会報告・・・2人  
議員定数・報酬・・・18人  
NT再生事業・・・7人  
北部活性化事業・・・12人  
よかった・・・26人  
よくない・・・0人  
その他・・・4人

〈今後、議会に期待することは (複数回答可)〉

議会報告会・・・8人  
町民アンケート・・・9人  
定数・報酬の協議・・・9人  
町民との交流・・・20人  
〈今後、議会報告会を開催したら、参加しますか〉  
是非参加する・・・9人  
内容次第で参加・・・14人  
参加しない・・・1人

**アンケートより (自由意見)**

・議員は遠い存在だったが、グループで懇談して身近に感じられた。  
・ニユータウンの活性化に期待したい。  
・もつといろんな方に周知する努力を。  
・町の危機的で困難な問題をとり上げるべき。  
・知らない話が聞けた。  
・決算の説明を家計簿に置き換えて、わかりやすかった。  
・町民の声を反映させたのであれば、このような交流会を頻りに開催し受け身ではなく議会側からもっと発信すべき。

**議会報告会・懇談会を終えて**

初めての取組みでしたが、ご参加いただいた皆様の活発なご意見を頂き、とても有意義な懇談会となりました。貴重なご意見を参考にしながら、議員一同、議会活性化に取り組んで参ります。ありがとうございました。

**徳島県の町村議長と鳩山町議員が議会の活性化について白熱意見交換**

11月21日に徳島県町村議会議長会の33人が、鳩山町議会の活性化の取組みについて、視察研修に来訪されました。

「どうする!?鳩山町議会 議会活性化特別協議会」の取り組みを説明し、質疑応答を行いました。無投票に対する徳島県の町村議会の取組みなどもご紹介いただき、議会活性化についての様々な意見交換を行いました。



歓迎のあいさつをする小鷹議長

**近隣の町議会議員と交流・情報交換**

11月17日に越生町とときがわ町議会の合同研修に、鳩山町議会として初めて参加しました。

飯能信用金庫の専務理事、関谷和昌氏を講師としてお招きし、3町の地域基盤分析をもとに、将来の税収や所得を予測し、人口の推移から、3町それぞれが抱える課題を示していたいただきました。

また、懇談会では3町の議員間で情報交換を行いました。有意義な研修会となりました。



データで読み解くそれぞれの町の課題

**はとバス再建から得た教訓**  
これからの自治体のあり方

平成29年度埼玉県町村議会議員研修会が、10月19日にフレサよしみで開催されました。講師は、はとバスの元社長、宮端清次氏です。倒産寸前の会社再建のため改革を断行し、業績をV字回復させた秘話をお聞きし、自治体のあり方を考えさせられる研修でした。

**住民に読まれ、議会活動が伝わる議会だよりを**

平成29年度議会広報研究会が、埼玉県民健康センターで開催されました。議会だより編集委員で参加し、埼玉県「コミュニケーションセンター」の芳野政明理事長の研修を受けました。「どんなに素晴らしい議会活動も、住民が知らなければ、評価はなかに等しい」ということを胸に刻みました。

# キッチン整備で マルシェにぎわいを



「コミュニティ・マルシェ」にキッチン整備工事可決

## 第4回定例会

平成29年第4回定例会が、12月5日から13日までの9日間にわたり開催されました。町長からの提出議案は、条例の制定に関するもの3件、規約の制定に関するもの1件、補正予算の議定に関するもの4件の8議案、専決処分報告に関するもの2件の計10案件で全て可決承認されました。議員発議が1件提出され、可決されました。また、請願については、反対多数にて不採択となりました。

### 鳩山町一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

人事院及び埼玉県人事委員会の給与に関する通告等を踏まえ、平均改定率0.2%引上げの改定を平成29年4月1日にさかのぼって適用するもの。

#### 〈賛成討論〉

一般職員の月額給料、期末手当を人事院勧告に準拠しての引上げは、民間の賃金引き上げににつながるので賛成する。  
(根岸)

### 議員発議

### 議会の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

人事院勧告の趣旨を尊重し、議会の議員の期末手当の支給割合を改正するもの。  
(年間の期末手当が100分の10引き上げる)

#### 〈反対討論〉

議員報酬等は、職員給与と同じように人事院勧告に準拠して引き上げ、引き下げたりすべき性格ではない。  
(根岸)

#### 〈賛成討論〉

議員報酬は勤務に対する評価とされているが、現在の報酬だけでは家族を養えない。議員のなり手の少ない要因に報酬の問題があり、若い世代への議員職の魅力向上のためにも改正は必要。  
(石井徹)

### コミュニティ・マルシェキッチン整備に係る補正予算

工事請負費350万円、備品購入費90万円の追加補正は、まちおこしカフェの機能整備を行うための経費。

**問** 工事の時期と内容は。  
**答** 工事は3月完成を予定。キッチンは2層シロクの流しと給排水設備。

### 児童措置費委託料5409万円の増額

入所児童数が当初の見込みより増加したことや、国で定める保育委託料の公定価格及び保育士の処遇改善に係る加算等が主なもの。

財源は国、県支出金を特定財源として充当する。

請願審査

「憲法9条改定に反対する意見書」の提出を求める請願 **不採択**

請願は、町民4名連記ほか385名の署名付きで提出されました。11日の総務委員会で審査され賛成少数で不採択とすべきものとなり、13日の本会議で報告されました。

賛成討論

安倍首相は、2018年中に国会発議、国民投票をと考えている。

2016年度から防衛費は5兆円を超え、社会保障費など削減している。南スーダンから自衛隊を戻したのは、憲法9条に違反するからだ。

(根岸)

戦争の歴史を繰り返さない、日本は2度と戦争はしないの思いが憲法9条だ。

戦後70余年の間、1人として自衛官の殉職者を出さなかった、今後も出

さない。その背景に9条がある。(石井計次)

平和主義を提唱する我々が、他者からの侵略等に対し個別的自衛権の行使は認められており、自衛隊の活動に支障はない。改正案では集団的自衛権を保持するという憲法解釈が可能になり、海外での武力行使に道を開く事になる。

(日坂)

反対討論

戦後日本は国際情勢の変化に対し、時の政府の9条の解釈で対応してきた。今まで外国から侵略を受けず、戦争に巻き込まれなかったのは、日米安全保障条約と自衛隊の存在があったからだ。憲法に自衛隊を明記すること、**「合憲」「違憲」**の議論に終止符を打つものである。

9条改正という、戦争をする国になると決めつけずに、まずは自身について議論を進めていくべきと考える。(大賀)

一部事務組合 議会報告

坂戸地区衛生組合

10月27日、春日部汚泥再生処理センターを視察研修しました。

処理センターは、遠心分離脱水機によるE2シテム施設、前処理設備を設けない遠心分離脱水機による汚泥の助燃剤化施設で、全国初の処理センターです。

西入間広域消防組合

9月9日、組合開設40周年記念式典が「ウイズもろやま」で挙行されました。組合議員など、多数の参加者のもとで、特別功労、自治功労表彰などがありました。

毛呂山・越生・鳩山 公共下水道組合

10月12日、臨時議会が行われました。議案は、損害賠償の額を定めること1件で、全会一致で可決しました。



「私たちは賛成・反対しました」

○は賛成 ●は反対 議は議長

平成29年第4回定例会 議案		議員氏名									審議結果		
		大賀 広史	石井 徹	田中 種夫	日坂 和久	森 利夫	小川 唯一	石井 計次	小峰 文夫	根岸富一郎		中山 明美	小鷹 房義
町 長 提 出	一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	町長等の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成29年度一般会計補正予算(第4号)の議定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成29年度毛呂山・越生都市計画事業今宿東土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)の議定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成29年度介護保険特別会計補正予算(第2号)の議定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	平成29年度水道事業会計補正予算(第2号)の議定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
請願 議員提出	毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合と鳩山町との間における公共下水道使用料の徴収事務の事務委託に関する規約の一部を変更する規約の制定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	議	原案可決
	「憲法9条改定に反対する意見書」の提出を求める請願	●	●	欠	○	●	○	○	●	○	●	議	不採択
議員提出	議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	●	議	原案可決

※わかりやすくするために、議案名を一部省略しています

# 町政を問う!

## 一般質問 9議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。

### 石井 徹 議員

1. 鳩山ニュータウン自治組織のあり方について
2. 鳩山ニュータウン再生・創造事業から

### 日坂和久 議員

1. いじめについて
2. 水防団活動について
3. 国分寺市との交流について

### 大賀広史 議員

1. 地域包括ケアセンター
2. 子育て支援事業
3. 鳩山ニュータウンの自治協力団体について
4. 交通安全施策

### 小川唯一 議員

1. 人口問題について
2. 町の適正規模
3. 市町村合併について

### 森 利夫 議員

1. 敬老会等について
2. マイナンバーカードについて
3. 福祉健康・多世代交流複合施設と、その他の今年度町発注の工事について

### 中山明美 議員

1. 子育て支援について
2. 事業用太陽光発電について
3. 火災対策について

### 石井計次 議員

1. 道路行政について
2. 鳩豆工房匂の花について
3. 人口減対策について

### 小峰文夫 議員

1. 太陽光発電施設について
2. 全日本プロレス チャリティー鳩山町大会について
3. 農村公園整備について

### 根岸富一郎 議員

1. 地域自治団体（地域の大字・自治会）の規約づくり支援を
2. 太陽光発電装置設置のガイドラインはいつから施行か
3. 町道第52号線（百地蔵通り）改良工事の促進を



石井 徹 議員

## NT自治会再編成

### 町はどのように協力できるのか

### 住民主体の組織作りを側面から応援

**鳩山ニュータウン自治組織**

**問** 新しい自治組織の進め方に極めて大切な時期であり、住民の皆さんに、改めて関心を持っていただくためにこの質問をするが、まず、これまでの自治組織のあり方検討委員会での答申の内容は。

**答** 平成27年3月に、1、自治協力団体は地縁による団体である。2、自治協力団体は丁目単位とする13団体が望ましい。との答申が出された。

**問** 現在、2つの交付金受領の自治組織の役員の方が、新しい自治組織の検討をしているが、町はどのような協力を考えているか。

**答** 自治組織は、町から交付金を受け取る自治協力団体という側面と、あくまでも自主的に組織された団体であるという2つの側面がある。今の課題は、自らニュータウンの住民でどう組織していくか検討段階に入っ

いる状況にあり、町としては側面から手伝うという考え方である。

**多世代活動交流センターの再整備**

**問** 来年度に予定している再整備計画の費用は。

**答** 予算編成中で公表できない。

**問** 現在の非常に厳しい財政の中で、保留や延期、中止の検討はできないか。

**答** 国の社会資本整備総合事業の交付があり、それなりの理由が必要。



再整備予定の多世代活動交流センター

日坂 和久 議員



いじめ問題

いじめ対策はいじめる子側に焦点を

いじめる子どもの気持ちに目を注ぐ

いじめ問題

**問** 前年度、町内小学校のいじめ急増の原因は何か。

**答** 法律によりいじめの定義が浸透し、学校現場で丁寧に対応した結果、認知件数が増えた。

**問** いじめ問題は「いじめられる」側に焦点を当てることが多い。しかし、大問題は「なぜ人をいじめるのか。」であり、いじめる側の気持ちに目を注ぐべきではないか。

**答** 全くそのとおりだ。いじめる子どもの気持ちの背景に何があるのか、目を注がなければならぬ。

**問** いじめる子どもは、何らかの心の怒りを向けなければならぬ本当の対象に向けられないから、手近にいる自分より弱そうな子に八つ当たりをしているのではないか。

**答** いじめる子どもの心には不安・葛藤・劣等感・欲求不満等が潜んでいると思われる。保護者との教育相談は欠かせないし、大人がいじめは悪

であるということを毅然とした態度で示すことが大切だ。

水防団活動

**問** 水防団を設置したものの消防団がどんな内容の水防業務にあたるのか等、訓練が充分でなく予備知識もない中での出動は団員自身も危険だ。町は水防管理団体として訓練指針を示して欲しい。

**答** 西入間広域消防組合と協議し、業務範囲に適した訓練内容や訓練実施を検討する。

**問** 資器材の整備が不十分との意見もあるが。

**答** 現在、水防活動に使用する資器材は数量等も含めて充分とは言えない。予算との調整を踏まえ、整備を進めていきたい。



消防訓練と同様に業務範囲に適した水防訓練も必要

大賀 広史 議員



ファミリーサポート事業

なぜ継続調査をしないのか

子育て会議等で検討を続ける

ファミリーサポート事業

**問** 去年行ったアンケート結果について、なぜ検証や調査をしないのか。

**答** 議員指摘のとおり進め方に問題があった。今後、子育て会議等で委員の意見を聞きながら、丁寧に検討を重ねたい。

**問** 保護者を対象としたアンケートで、利用希望者は191名。補助金交付基準の最低人数は。

**答** 利用会員とサポート会員合わせて50人だ。

**地域包括ケアセンター**  
**問** 社協の実施しているふれあい在宅サービスなどは、地域支援事業として有効な事業だ。もっと周知をすべきでないか。

**答** 包括支援センターの相談業務のなかで、しっかり伝えていきたい。

**問** 県内でも希少な療養通所介護施設なのに、「デイサービスセンター」など、施設名称が雑では。  
**答** 確かに施設名称がわかりづらい。検討する。

**鳩山ニュータウン自治協力団体交付金要綱の改正**

**問** 町が要綱を改正して、今後網から外れる事となる既存の自治協力団体の理解を得ているのか。

**答** 町の考えを丁寧に伝えて、2団体ともご理解を頂いているところだ。

**問** 20年以上の判断が誤りだったために、この5年間取組んできた事と察する。再編と同時に、次世代の住民の加入を。

**答** 自治協力団体の立上げについて、側面からしっかり支援していく。

**交通死亡事故ゼロ**  
**問** 県内最長記録達成をお祝い申し上げる。内外にPRするイベントを。

**答** 役場に横断幕等でPRしているが、10年継続に向け、何か考えたい。



交通死亡事故ゼロ3,650日に向けて(町役場・横断幕)



小川 唯一 議員



人口問題と合併問題

インパクトのある施策が必要

良いアイデアがあれば検討したい

人口問題

問 2025年、2035年の町の人口予測は

答 推計では、2025年には総人口1万3千人前後、65歳以上の高齢者は50%近くになる。国平均より高いレベルの高齢化の状況が予想される。

問 2035年全国で3戸に1戸が、空き家になると予想されるが。

答 町では、空き家対策協議会を設置し、空き家対策のスタートラインにたつたところで、今後の取り組みが重要。

問 少子化対策としてサポートが必要であると考えるが。

答 効果的な施策があれば、財政的な投資を集中していくことも必要。

問 インパクトのある施策が必要と思うが。

答 良いアイデアがあれば検討したい。

問 町が考える適正規模とは。

答 単純に、面積や人口では言えない。総合的な分析が必要。

問 人口当たりの、歳出総額で、経費が安つくのは何人くらいか。

答 一般的には、20万人と言われている。

問 小規模な自治体と大規模な自治体とのサービスの比較は。

答 公共施設の整備などハード面では、大規模な自治体にメリットが、福祉や教育では、小規模な自治体が自配りが大きく。

合併問題

問 平成の合併は一区切りついたが、これから合併をどう捉えているか。

答 現在、合併の話は出ていない。広域で事務を拡大する方向で考えられている。

問 町民の意識がどうなっているか。

答 合併に対する意識調査をしていない上、問い合わせもない。

問 町の適正規模から合併をどのように捉えているか。

答 一部事務組合の議論の延長戦で、合併という様な話も出てくる可能性はある。

敬老会について

敬老会を開催しなかった理由は

高齢者福祉の予算編成を見直した

森 利夫 議員



問 本年度敬老会を開催しなかった主な理由は。

答 出席者数が例年200人前後で、対象者全体の4分の1程度である事、社協を本来の役割である、地域福祉活動に注ぐ事、予算編成の見直しで敬老会を対象とした事、アンケートの結果等を考慮して廃止した。

問 来年度以降の予定は。

答 敬老会の開催予定はない。既存の高齢者福祉事業をそのまま継続すると、予算自体が成り立たない恐れがある。

問 マイナンバーカードの交付通知書は今までどれ位発送したか。

答 10月末時点で1790枚発送している。

問 各種証明書のコンビニ交付は、いつ頃から始めるのか。

答 県内では22の市町で実施しているが、当町での導入は費用対効果等の理由から難しい。

問 多世代活動交流センター改修工事の進捗状況は。

答 平成28年度に改修工事設計業務を実施しており、改修工事は平成30年度を予定している。

問 具体的なスケジュールや金額等については予算編成中であり説明できない。

答 以前の説明で総事業費は11億円と説明したが、

答 事業費は既に約10億3000万円使っており、交付金が使えない総事業費の残高は約1億3000万円である。

問 この残高を超えた工事を施工すると、町の起債額が増えるのか。

答 町単独分の費用とすることである。



改修工事が見込まれる多世代活動交流センター

子育て世代包括支援センター

ボランティア、協力団体との連携は

必要かつ重要なものと考えている



中山 明美 議員

**問** センターの活用状況は。

**答** 11月のプレイルームの利用者数は延べ95人、一日平均にすると約5人。来所相談件数は1件、妊婦への電話支援件数が15件、産婦への電話支援件数が9件、母子訪問支援が5件。

**問** ボランティア、協力団体との連携は。

**答** 必要かつ重要なものと考えている。子育てにかかわる方々の専門性を生かして、より身近で活気ある場所になるように、連携を図っていききたい。ネットワークの強化を進め、妊娠期から子育て期にわたるまで切れ目ない相談と、必要な方に必要な支援を必要なときに提供できる体制を築いていきたい。

**問** 相談があったときの対応は。

**答** 母子保健コーディネーターが窓口になって、その内容に応じて、関係機関と連携して支援を行う。また、相談の内容により、緊急的に支援が必

要な場合には、関係団体や関係者が集まり、具体的な見守り方法、支援内容等を協議する個別ケース検討会議を、その都度開催して対応する。

**問** 今後の予定、計画は。

**答** 親子で楽しく参加できるもの、ベビーマッサージ教室、ベビ योग、ベビーサイン教室、ママパパ教室、親子でおやつづくりなど、子育て世代の様々なニーズに応えた事業を展開していく。母子の集いの場として認識され、定着させるようなイベントを考えていきたい。



安心して相談できる施設に子育て世代包括支援センター

活性化策

旬の花、指定管理者制度導入の検討は

積極的に推進の方向で検討している



石井 計次 議員

**問** 前回の質問を踏まえて、鳩豆工房の旬の花について質問する。

**答** 町は、過去5年間で年平均約68万円ほど支援している。これを発展的に解消するために指定管理者制度の導入を提案する。美味の会の皆さんへ説明し、ご理解と協力を頂けるようなステップを踏むべきと考えるがいかがか。

**問** 指定管理者制度は財政負担の軽減にも資する制度で、多くの公の施設で活用されている。

**答** 町は平成30年度予算における事務事業の見直しを実施している。重点事業の一つとして民間の力を活用した公共施設の管理について実施する。その視点で導入の検討を行う。

**問** 導入に際し※プロポーザル方式か、或いはその他の方式で検討されるか。

**答** 今後、研究するがプロポーザル方式が肝要ではと考えている。

**問** 導入のスケジュールの見直しはいつ頃にな

るか。

**答** 事務手続き、議会の議決などからおおよそ1年余りと思う。

※プロポーザル方式応募者が企画、提案したものを決定する方式。

**問** 県の受託事業として、町が600万円予算計上している物件補償業務について、今年度は難しいと認識しているがいかがか。

**答** 県の用地測量の着手が来年度の見込みとなった。物件補償業務600万円の事業費は改めて来年度に予算措置を行う方向で調整している。



町の施設「旬の花」

小峰 文夫 議員



太陽光発電

20年後、太陽光パネルは廃棄物か

町条例・規則を作り対応

**問** 太陽光発電施設の20年後は

太陽光発電の20年後を見据えて、鳩山町条例を作る考えはあるか。

**答** 資源エネルギー庁策定の太陽光発電事業計画策定ガイドラインに定められており、埼玉県から通知があり、「太陽光発電施設の設置に関するガイドラインについて」を参考に、鳩山町の太陽光発電施設設置に関する要綱の制定に向けた検討を進めている。

**全日本プロレス チャリティー鳩山町大会**

**問** 第3回を迎える、全日本プロレスによる鳩山まちおこし事業をどう思っているか。

**答** 鳩山町に全国からプロレスファンが、鳩山町中央公民館に来てくれると言ふことは、大変喜ばしいことと歓迎している。

**問** 第1回、第2回の全日本プロレス チャリティー鳩山まちおこし大会を見ていると、観客が全国から来ていると思う

ので、旬の花（美味のち）が出店しているが、すぐ食べる物と、お土産用の鳩豆うどん、鳩豆醤油は、別の所に出店できないか。



まだまだ続く太陽光発電パネル設置

**答** 第1回と第2回のプロレス大会会場で、町の特産品である鳩豆うどんを初め、鳩山の味や食を提供してきたが、全国からプロレス会場へ観客が来るので、食べ物とお土産は、売り場を別に考えたい。

道路改良

百地蔵通りの改良工事を早く

用地取得などの進捗による

**問** 規約を持つ地域自治団体はいくつか。

**答** 17団体中、6団体である。規約は必要だ。自治協力団体の自主性を尊重している。

**問** さまざまな地域の課題に取り組んでいるが、町行政のかかわり方は。

**答** 自治組織と連携し、民主的に効率的な行政の確保を図りたい。

**問** 自治団体と町は、対等で協働する関係をつくる必要があるのでは。

**答** その通りと考える。

**問** さまざまな課題を区長が1人で全て責任を持つのは負担ではないか。

**答** 地域の実情に依じて、知恵を出し合って、課題を解決する仕組みになる規約を望む。

**太陽光発電設置の規制を**

**問** 長野県飯島町の規則は、地元説明会や個々の地権者の合意を重視していた。町のガイドラインはどうなるか。

**答** 初期段階で利害関係者等に事業の周知、意見の把握等を行っていた。また、事業が明らかになった時点で、改めて利害関係者に説明、回答を求めるなど検討を進めている。

**問** いつ、ガイドラインを施行するか。

**答** 早期に制定したい。

**町道52号(百地蔵通り)**

**問** 事故から11年がたつ。なぜ工事が始まらないか。

**答** 平成22年度に地元と用地等の話し合いがまとまり、国へ交付金申請したが不採択となった。その後、活性化事業として話し合い、直線から元通りの現状を改良することになっている。

**問** 今の世帯主が生き残っているうちにできないか。

**答** 1期5年間の計画で、2期に分けて国へ申請し、実施する予定である。用地取得などの進捗によって完了時期が決まる。



狭く、ひび割れて危険な道路

# 視察研修報告

10月2、3日に2つの委員会合同で長野県駒ヶ根市社会福祉協議会と長野県飯島町を視察しました。

総務産業  
委員会

## 太陽光発電施設設置規制について

視察研修を  
終えて

平成29年10月3日、所管事務の視察研修を実施しました。

### 調査事項

総務産業委員会は長野県飯島町の、太陽光発電施設設置規制について視察研修をしました。

飯島町では、平成26年2月14日に飯島町地域自然エネルギー基本条例を策定しました。

町と地域と業者の3者で作り、第1条から第9条まであります。

第1条 この条例は、自然エネルギーの活用に関する基本理念を定め、町民及び事業者の役割をあきらかにする。

第2条 この条例において、「自然エネルギー」とは、次に定める。

第3条 飯島町の自然エネルギーは、先達が守り育

てきた自然資源であるとの認識のもと、基本理念は守る。

第4条 町は、地域社会が持続的に発展するように、基本理念に沿って町民や事業者への支援等する。

第5条 町民は、基本理念に沿って他の町民の自然エネルギーに対する権利を尊重し、主体的に努めるものとする。

第6条 町で活動する事業者は基本理念に沿って町民の自然エネルギーに対する権利を尊重する。

第7条 町は、自然エネルギーの活用に関しては、国、地方公共団体、研究機関、町民、事業者と共に、相互の協力が増進されるよう努める。

第8条 町は、エネルギーの活用について町民及び事業者の理解を深めるため、必要な措置を講ずるものとする。

第9条 この条例の施行

に関し、必要な事項は別に定めるものとする。

### 飯島町の基本条例の感想

飯島町の自然エネルギー基本条例は、景観保全のため政策的抑止地域を設け、発電所が出来ない範囲を決めています。鳩山町も条例、規則が必要と痛感しました。



説明していただいた飯島町住民税務課長と生活環境係長



自然エネルギー基本条例について説明を受ける



長野県飯島町役場にて

長野県飯島町には、自然エネルギー活用発電施設の設定条例がある。10キロワット以上の発電施設を計画した場合、地域住民に説明会を行い、設置計画同意書を町に提出し、許可を受けてから工事を始める方法で開発を規制している。(森)

事業者が20年後、廃棄物になる事も含め、計画段階から地元で説明会をし、許可を受ける。安心感が大きい。

鳩山町が行なった場合、条例施行前後の差をどのように埋めるかが課題と感じた。(中山)

「再生可能エネルギー」の設置についての条例」を全国で先駆けて制定しており、町の強みであり、財産である中央、南の両アルプスの景観を守り、かつ住民の住環境を守るという取り組みに、しっ

# 常任委員会レポート

福祉文教  
委員会

## 「こまちゃん宅福便」とは

平成29年10月2日、所管事務の視察研修を実施しました。

### 調査事項

生活支援サービス事業「こまちゃん宅福便」について

長野県駒ヶ根市は、人口3万2266人、1万2646世帯、社協の職員124人（正規35、嘱託12、臨時23、パート54人）で、地域福祉、障がい者支援、介護保険事業を行っています。また、16の行政区すべてに社協ができています。

### いつから始まったの

平成14年から「住民参加の生活支援サービス、いつでも、だれでも、こまちゃん宅福便」を始め、平成28年度に利用者は103人、支援する人は70人で、事業

の考え方は、鳩山町の「ふれあい在宅サービス」と同じです。

### サービス内容は

特徴的なサービス内容は、外出で食事等同行、家事で整理整頓、「ゴミ出し、動物の世話など、介助・見守りで食事介助、身体介助、入浴介助、話し相手、見守りなど、その他では、子ども支援、農作業、草取り、庭手入れ、住宅修理などの日常生活上必要とする援助です。

利用時間は、午前8時30分から午後6時まで。利用料は、目安として1時間当たり800円、移動の燃料、買い物材料費等は実費負担です。利用者と支援者の直接やり取りで決められます。

契約書を作り、社協がコーディネートします。

### 「はつきり断る」とは

困り事には色々あって専門的で、難しいこともあり

ますが、「そういうことにこのサービスでは応えられない」とはつきり断るとのことです。

支援する人は、2ヶ月に1回社協に報告書を提出します。

### 重要なことは

「利用者は「御礼」の気持ちが必要」「未永く続けるために有償が良い」「対応に付き合ひ、自助、自立を助けることが重要」など、利用料や生活支援のサービスの内容と範囲など参考になりました。



生活支援サービス事業について説明を受ける



駒ヶ根市社会福祉協議会にて

かりとした町の方針が見え、素晴らしい取り組みと感じた。（石井徹）

駒ヶ根市社協実施の住民参加型生活支援サービスは、住民同士のきめ細かな支え合いが行われ高く評価できます。今後、最多利用の外出支援サービスと福祉有償連送の連携が課題でしょう。（日坂）

小地域で日常を支えあう「こまちゃん宅福便」は、昔の鳩山町にあった近所付きあいと考える支えあえる関係を作ることを目的としているが高齢化が進む中で、どのように組織を育てるかが課題である。（小川）

駒ヶ根市の地域福祉事業「こまちゃん宅福便」は、住民参加の生活支援サービスとして、地域に根差した有償ボランティア事業だった。当町でも社協のふれあい在宅サービスをさらに充実し、発展させるべきと感じた。（大賀）

## 議会クイズ

- 正解者の中から抽選で、2人の方に**町の特産品**を差し上げます。
- クイズの正解と当選者の発表は、次号の議云だよりに掲載します。

138号の当選者2人の方  
おめでとうございます！  
○松ヶ丘 宮本きよ子様  
○楓ヶ丘 村田りつ子様

- ★前号の答え  
① □ ② □ ③ 八

### (応募方法)

はがきに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・電話番号」を記入してください。  
議会に対してのご意見・ご感想などもお聞かせください。

### (あて先)

〒350-0392  
鳩山町大豆戸184-16  
議会事務局クイズ係

(締切)2月26日(月)  
(当日消印まで有効)

ぜひ奮ってご応募ください。お待ちしております。

**問題1**  
議会報告会の参加者で一番多かった地区はどれでしょうか。

① ニュータウン      ② 今宿地区  
③ 亀井地区

**問題2**  
鳩山町議会に視察にいられた議長会は何県から来たでしょうか。

① 徳島県      ② 高知県      ③ 香川県

**問題3**  
コミュニティ・マルシェに新たに整備されるのは何でしょうか。

① キッチン      ② テーブル      ③ お風呂

## ご意見・ご感想を頂戴いたしました

たくさんのご意見をありがとうございます

### (傍聴アンケートより)

- 越辺川沿いの土手の彼岸花が増えましたね。直売所に沿って、もっと大量にあるといいと思います。
- 質問時間が守られています。良い。
- 質問が同じものが何件かある(事前調整)
- 北部地域活性化事業の上熊井・高坂のバスの利用について質問がなかったが、11月の利用状況の調査結果はどうなったのか。それを受けて町はどのような具

体策を取るのか。議会として責任があり、継続フォローをぜひ実施してほしい。

☆前にも各議員が質問をしていますが、引き続き質問をしていきます。

☆大勢の傍聴ありがとうございました。


● =ご意見・ご感想  
☆ =編集委員会コメント

12月議会傍聴者数 27人

## 次回3月定例会は3月6日(水)から開催予定です

- 請願・陳情は2月26日17時まで提出してください。
  - 議会ホームページから音声配信をしています。
- 音声配信速報版は翌日(休日を除く)から配信されます。

QRコードを読み込むと、議会のホームページが表示されます



## 議員辞職のお知らせ

平成29年12月28日付で田中種夫議員から辞職願が提出され、議長が平成30年1月4日付で許可しました。

田中議員は平成23年6月5日より6年7カ月にわたり、鳩山町の発展と住民福祉の向上に尽力いただきました。

## 鳩山町議会 議員補欠選挙

投票日は2月18日

議会議員の欠員による鳩山町議会議員補欠選挙が2月13日(火)告示2月18日(日)投票の日程で行われます。補欠議員の定数は3人です。

## 編集後記

鳩山町議会では、議員が歩いて皆様の声を聞く「アンケート」、また、初めての意見交換会・懇談会を開催することができました。

貴重なご意見ありがとうございました。

おひとりおひとり、皆様方、ご意見は違います。ですが、皆様が議会に何を望んでいるのか、直接感じることができ、貴重な体験になりました。議員は何をしているのか、わからないと思われなように、これからも議会活動が住民の皆様に伝わるよう努めてまいります。

是非、皆様の声をお聞かせください。(中山)

### 第139号編集委員

- 委員長 中山 明美
- 委員 根岸 富一郎
- 委員 小峰 文夫
- 委員 石井 計次
- 委員 大石 徹史